

あじさいのたより



発行責任者
校長 初村 一郎

【校長室より】

『化学反応』

こんにちは。学校生活は、まだまだ気を緩めることはできませんが、少しずつ従来の日常を取り戻しつつあります。1・2年生は2年生がリーダーシップを発揮しながら学習と部活動の両立を、3年生は自分の人生をかけた進路実現のため、それぞれ新たな目標に向かって歩き始めています。この当たり前の日常に改めて感謝しながら、生徒・職員互いに手を取り合って一步一步前に進めていきたいと思えます。

最近、なかなかすっきりしない空模様ですが、梅雨の風物詩といえば紫陽花（あじさい）。別名は七変化（しちへんげ）と呼ばれますが、その名のとおり、花の色が青、紫、ピンク、白といった多彩な色に変化します。五島市では岐宿の魚津ヶ崎公園で、色とりどりの紫陽花が咲き並び、心を和ませてくれます。ところで、花の色がなぜ変化するかご存知でしょうか。一般に、紫陽花の花は土壌のpH（酸性度）によって色が変わり、「酸性ならば青く、アルカリ性ならば赤く」なると言われています。花を青くしたければ酸性の肥料を与えればよいこととなります。同じ株でも部分によって花の色が違うのは、根から吸収される土壌の性質に差があるためだと思われまます。品種によっては、こうした化学反応を起こさないものもあるそうですが、通常、最初は黄緑から青や紫などに色づき、日が経つにつれ土壌の変化とは関係なく、最後はすべて赤味を帯びるようになるそうです。

辺りを見渡すと、紫陽花の脇で、道端に静かにたたずむ草花にも目が留まるときがあります。心にゆとりがないときは、ただの雑草にしか見えないものですが、本当は雑草なんていう草はありません。オオバコ、クローバー、タンポポ、ホトケノザなど、それぞれに名前があって命があります。生まれてくる意味があるのです。草は生えることで土の中がどんな状態なのかを教えてくれるんだそうです。窒素分が多いとか足りないとか、水分が多いとか少ないとか。だから雑草が次の仕事を教えてくれると聞いたことがあります。

一年の中には、大雨に見舞われる日もあれば、強風に苛まれる日もあります。しかし、一方で天気の良い日には、空や海の色に感動したり、遠くの島々を見渡し、そこで暮らす人々に思いを馳せたりと、色々な思いを巡らすことができます。五島のどこまでも続く青い海や雄大な鬼岳などの山々に囲まれた素晴らしい自然は、我々の日々の生活の潤滑油になっていることを忘れてはなりません。ふと立ち止まって、そうした自然の恵みを感じながら、五島市に根ざした歴史や文化などについても、ようやく思いを寄せられる日常が戻ってきたように感じます。

今、生徒たちは、友達と肩を並べて授業を受けたり、休み時間のたわいのない会話など、何げない毎日のありがたみを身に染みて感じているはず。普段、通り過ぎてきた光景や見過ごしがちな風景にもしっかりと目を向け、その一つひとつに意味があり示唆を与えてくれることを感じる力が備わってきているものと確信します。日々の生活で様々なことを吸収し、鮮やかな化学反応をおこして、気力あふれる立派な華に成長していったほしいと願います。



運動部活動継承式 5/29 (金)

5月29日(金)、新型コロナウイルスによる高総体の中止を受け、例年の高総体壮行式と報告会に替えて部活動継承式を行いました。

式ではユニフォーム姿の生徒達が、高総体の開会式行進曲にあわせ入場し、各部主将、部長が3年間の部活動生活で学んだことや仲間への思い、新チームとなる1・2年生への激励とこれまでの感謝の言葉を贈りました。また、吹奏楽部も県吹奏楽コンクールが中止になったため、これまで練習してきた課題曲の演奏を披露しました。

その後、1・2年生を代表して2年生の野口市郎太君が3年生に向け感謝の言葉を述べ、初村校長先生からは、3年間の労いと今後の新たな目標へ向けての激励の言葉が贈られました。高総体の中止が発表されて以降、多くの生徒に悔しさや消化不良で、落ち込んだり悩んだりする場面が見られましたが、継承式の中での仲間や先輩、後輩の互いが思いやる言葉は、それらを乗り越える、大きなきっかけとなったようでした。例年になく、各行事が中止に追い込まれ、特に3年生にとっては苦難の滑り出しとなりましたが、周囲の思いを受け止め、前へ向かってしっかり踏みだしてほしいと思います。



新生徒会役員選挙 6/16 (火)

生徒会役員任命式 6/23 (火)

6月16日(火)、新しい生徒会役員を決める生徒会役員選挙がおこなわれました。今年度は、会長に1名の定員に対し2名の立候補、副会長に2名の定員に対し3名の立候補があったために選挙を行い、議長、副議長の役職はそれぞれ定員と同数の立候補者となったため、信任投票を行いました。

立会演説会では、候補者が各自の想いを熱心に語り、生徒たちも真剣な眼差しで聞いていました。放課後には1・2年生の選挙管理委員による開票作業がおこなわれ、今年度の生徒会役員が決定しました。6月23日(火)におこなわれた生徒会役員任命式で新生徒会長の野口市郎太(のぐちいちろうた)君は「“先輩方の五島高校をよりよい学校に”という意思を引き継ぎ、生徒会役員だけでなく全校生徒で頑張っていきたい。」と決意を語りました。創立120周年の節目となる今年度の生徒会が、より活性化し、全校生徒の更なる躍進の起爆剤となれるよう、生徒会活動に取り組んで欲しいと思います。

新生徒会役員

会 長：野口 市郎太	副会長：早瀬 美優
	副会長：山田 莉里花
議 長：北川 万裕子	副議長：中村 聖永



3年生の集大成

